

広島市植物公園

見どころ案内

シャクナゲ (ツツジ科)

鮮やかな紅色や淡い桃色など、さまざまなシャクナゲやツツジの仲間が咲きはじめました。

ヤグルマギク

(キク科)
ピンクもありますが、特に濃青色の花が美しいといわれている草花です。

ゼラニウム展

(フウロソウ科)
日本一のコレクションで約350品種を一度に見ることができます。葉の香りを楽しんでください。

ヒスイカズラ

(マメ科)
フィリピン原産のエメラルドグリーン色の花です。房になってぶら下がっています。

一葉(イチヨウ) (バラ科)

めしべが葉化して花の中心に小さな葉が1枚見えるので、この名がつけました。淡いピンクの八重桜です。

コバノミツバツツジ

(ツツジ科) 芝生広場の他にも園内のいたるところに自生しています。色は淡ピンクから濃ピンクまで株により様々です。

シヤガ (アヤメ科)

朝咲いて、夕方しぼむ一日花ですが、群生していて、次々と小さなアヤメのような、淡い色の花を咲かせています。

菊桃 (バラ科)

細い花弁で八重咲きのモモ。ピンクの菊のような花を咲かせています。

ツバキの園芸品種

(ツバキ科) バラやボタンを思わせる大輪のツバキが見られます。

リキュウバイ

(バラ科) 漢字で利休梅と書きます。純白の花で品があります。

オオシマザクラ

(バラ科) 多くの園芸品種があるサトザクラの親。サクラの台木としても使われます。

鬱金(ウコン)

(バラ科)
黄色の花弁をもつ八重桜です。咲きすすむと中心が赤くなります。

ムスカリ (ヒアシンズ科)

香りの小径沿いがブルーのじゅうたんのようです。

